北名古屋市国際交流協会会報

未来のために「世界の真理」を知ること

北名古屋市国際交流協会副会長　杉野　祐敬

北名古屋市国際交流協会の副会長・杉野祐敬さん。杉野さんの国際交流活動や人となりを取材しました。

――― 西春師勝土地（株）という不動産会社の会長さんでもありますね。お仕事で外国の方と交流することもありますか？

賃貸やアパートに外国人が入居するということはありますが、ほとんどが雇用主である企業さんとの契約なので、直接お話することは少ないですね。でも、労働ビザの確認をしたりと多少の交流はあります。市内には随分たくさんの外国人が住んでいらっしゃいますから、いろんなイベントで会うこともありますね。協会が行っている外国人向けの日本語教室は、市内に住む外国人の方にとても有用な教室だと思っています。

――― 杉野さんも協会の韓国語講座を受講していらっしゃるんですよね。

７年位前から韓国語教室に通っています。前会長の水田さんからお誘いを受けて始めました。２０年以上も前に韓国に旅行をしたときは、全く文字が読めず、もちろん話すこともできませんでしたが、７年続けると、読んだり聞いたりできる言葉が増えました。韓国語は面白いですよ。日本語と助詞や形容詞の使い方も同じなので、覚えやすいですしね。勉強し出したら、映画やドラマにもはまりました。録画しておいてたまってしまうと、徹夜して朝まで見たくなるくらいです（笑）。

――― 海外旅行もたくさん行きましたか？

韓国には何度も行きました。残念ながらまだ務安には行っていませんが、務安の皆さんがいらっしゃった時には交流をさせていただき、よい経験になりました。眞子様がお出かけになったブータンにも行きました。日本文化に似ているところもあり、とても親日的でした。モンゴルに行ったときは、大火事の後だったので見舞金を持って行きました。ちょうどナーダム祭というお祭りの時期だったのもあり、国賓級の扱いで山羊を目の前で丸焼きにしてくれるというごちそうをしてくれました。これは残念ながら私たちの口には合わず、ほとんど食べられませんでしたが、モンゴルの人たちが大喜びで食べてくれたので良かったです。相撲や競馬、民謡など、モンゴルもとても日本と似ています。この時通訳してくれたモンゴルの人が、後に東京の大学で勉強していた際、名古屋を案内したこともあります。

――― これからの国際交流について、どうお考えですか？

協会では国際理解講座を開いていますが、このように国際的な知識のある先生のお話を聞く機会が大切だと思います。世界の流れを知ることが重要なことです。世界に出て行くことも大切ですし、日本に来てくれた外国の人との交流も良いことですが、今の世界の実態をしっかりと理解すること、『世界の真理』を知ることは、日本の未来のためにも非常に重要なことだと思います。

KIIA 北名古屋市国際交流協会会報
発行者 北名古屋市国際交流協会
Kitanagoya City International Association（KIIA）
〒481-8531　北名古屋市役所（西庁舎4階）
TEL　0568-22-1111（内線）2400
vol.28
2017. 7.

平成29年度事業

4月8日、北名古屋市文化勤労会館小ホールで、通常総会が開催されました。多くの人と交流し、世界につなぐ夢と希望を拡げるため、「国際交流の場づくり、国際交流の担い手となる人づくり、国際交流を活用した地域づくり」など市民が主役になる草の根交流を推進します。そして、北名古屋市の国際交流拠点にふさわしい協会づくりをめざす平成29年度事業計画、予算案等が決定しました（写真は昨年のものです）。

平成29年度の重点事業

・協会設立10周年を記念して、草の根交流海外派遣事業を「市民が主役」となる国際交流のモデル事業として推進する。
・外国籍市民ネットワークづくりに努める。
・国際交流の成果を地域おこしにつなぐ「北名古屋地域ブランドプロジェクト」を推進する。

平成29年度事業計画

◆国際交流の場つくり

《第６回アジア太平洋フェスティバル》　アジア太平洋諸国との交流の場として、食と文化の交流を通じて、国際理解を深めるため、市民手づくりのアイデア溢れる国際交流イベントを開催します。

《国際フェア》　国際交流の場として、「ふれあいフェスタ２０１７」、「第６回とらいあんぐるフェスタ」などイベントに出展し、国際交流コーナーを設置し、国際理解を深めます。

《国際交流子ども芸術教室》　名古屋芸大の留学生と子どもたちとの交流の場として、芸術教室を開講し、国際理解を深め、子どもたちの国際感覚を育てます。

◆国際交流の担い手となる人づくり

《草の根交流プログラム》　韓国務安郡、米国グアムなど海外の自治体や国際交流団体等を受け入れ、「市民が主役」となる草の根の国際交流の実現に努めます。

《社会人日本語教室》　外国籍市民を対象に基礎的日本語の習得や日本社会での適応能力を高めるための教室です。毎週、金曜日夜、市コミュニティセンターで開講します。

《子ども日本語教室》　市内公立小中学校に通う外国籍市民の子女を対象に日本語の学習支援と日常生活に必要な日本語を習得させるため、在籍の小中学校での出張教室方式で毎週１回開講します。

《外国語講座》　一般市民を対象に、韓国語２コース、中国語１コース、英会話２コースの３か国語５コースを健康ドームで開講します。

《外国語学習事業補助》　市内で語学学習するグループに対して、その講師料の一部を予算の範囲内で補助します。

《通訳ボランティア派遣事業》　学校、団体や企業などの要望により通訳ボランティアを派遣するとともに、翻訳サポート等を実施します。

◆国際交流を活用した地域づくり

《北名古屋地域ブランドプロジェクト》　北名古屋地域ブランド産品を開発普及するプロジェクトです。イメージ・キャラクター「いっちゃん」を活用して、「北名古屋ブランド産品」の啓発キャンペーンを実施します。

《多文化共生社会づくりプログラム》　外国籍市民とそのファミリーを対象とした交流ネットワークづくりのプログラムを開講します。

《国際理解プログラム》　一般市民を対象に、国際理解を深めるため、《世界を識るシリーズ》、《国際交流を活用した地域づくりシリーズ》などの講演会や映画鑑賞会などを実施します。

《国際交流事業補助金》　市内の団体等が実施する国際交流事業について、その経費の一部を予算の範囲内で補助します。

《外国人生活相談》　地域で暮らす外国籍市民が抱えている問題をともに考える相談窓口を開設します。

《会報発行》　７月、11月、４月に「北名古屋市民タイムズ」を通じて、全世帯に届けます。

《フェイスブック》　フェイスブックを活用して、協会活動をタイムリーに広報ＰＲするとともに、交流ネットワークを広げ、市民参加とオープンな運営を推進します。

《ホームページの更新》　協会の活動や催事の紹介、各種講座の案内、会員募集など、ホームページを更新します。外国語版は、協会登録ボランティアが作成します。

平成29年度収支予算書（単位：円）

収入の部	
負担金（会費等）	610,000
補助金・助成金	12,720,000
諸収入	1,776,000
繰越金	297,000
計	15,403,000
支出の部	
事務費	7,461,000
（報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等）	
事業費	7,902,000
（報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金補助金等）	
予備費	40,000
計	15,403,000

詳しくは協会までお問い合わせください

平成29年度北名古屋市草の根交流海外派遣事業（特定財源）

事業方針

協会設立10周年を記念して、草の根の国際交流を推進し地域の国際化につなぐため、すでに友好交流の実績のある韓国務安郡と今後の交流が見込まれる米国グアムに市民代表団を派遣します。

アイデア出しから企画・運営・実施まで市民主導を徹底し、「市民が主役」となる国際交流のモデル事業をめざします。

なお、この事業は、北名古屋市に預託された篤志家からの寄付金により実施するものです。

事業計画

《グアム派遣》　派遣時期…平成29年6月28日～7月1日（3泊4日）　派遣人員…約20名　公募時期…4月

《務安郡派遣》　派遣時期…平成29年11月9日～11月12日（3泊4日）　派遣人員…約20名　公募時期…8月

平成29年度収支予算書

《収入の部》
・負担金（参加費等）…200万円
・補助金（市）…500万円
・計…700万円

《支出の部》
・事業費（旅費・需用費・役務費・委託料等）…700万円
・計…700万円

平成28年度事業報告

平成28年度の事業報告

◆国際交流の場つくり

《協会設立10周年記念　第5回アジア太平洋フェスティバル》　10周年を記念して「この10年を振り返り、次の10年を考える」をテーマに、アジア太平洋諸国との交流の場として、市民手づくりの国際交流イベントを開催した。

《国際フェア》　国際交流の場として、「ふれあいフェスタ2016」、「第5回とらいあんぐるフェスタ」などイベントに出展した。

《国際交流子ども芸術教室》　名古屋芸大の留学生と子どもたちとの交流の場として、芸術教室を開講し、国際理解を深め、子どもたちの国際感覚を育てた。

◆国際交流の担い手である人づくり

《中学生国際交流プログラム》　北名古屋市と国際友好提携都市韓国務安郡との交流事業として、次代を担う中学生を相互に派遣し、交流を深め、友好の絆を強めた。

《草の根交流プログラム》　韓国務安郡、米国グアムなど「市民が主役」となる草の根の国際交流の実現に努めた。

《社会人日本語教室》　外国籍市民を対象に、日本語の基礎能力をつけるため開講した。

《子ども日本語教室》　市内公立小中学校に通う外国籍市民の子女を対象に日本語の学習支援と日本語習得のために開講した。

《外国語講座》　一般市民を対象に、韓国語2コース、中国語1コース、英会話2コースの3か国語5コースを開講した。

《ボランティア研修プログラム》　研修会や交流会を開催した。

《ボランティア登録者数》　登録者数190名。

◆国際交流を活用した地域づくり

《北名古屋地域ブランドプロジェクト》　「北名古屋特産！いちじく酵母入り・のむ酢」や「いちじくジャム入り・いっちゃんパン」などを開発し、イメージ・キャラクターを活用して、「第5回アジア太平洋フェスティバル」、「ふれあいフェスタ2016」などで、啓発キャンペーンを実施した。

《多文化共生社会づくりプログラム》　外国籍市民とそのファミリーを対象とした「外国人のための防災教室」を開講した。

《国際理解プログラム》　一般市民を対象に、東大名誉教授姜尚中氏を迎えて「成熟社会の在り方」をテーマに講演会などを開催した。

《外国人生活相談》　地域で暮らす外国籍市民が抱えている問題をともに考える相談窓口を開設した。

《会報発行》　7月、11月、4月に「北名古屋市民タイムズ」を通じて、全世帯に配布した。

平成28年度決算報告（単位：円）

収入の部

負担金（会費等）	636,800
補助金・助成金	12,720,000
諸収入	1,955,970
繰越金	609,154
計	15,921,924

支出の部

事務費（報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等）	7,386,524
事業費（報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、負担金補助金等）	8,237,552
予備費	0
計	15,624,076

詳しくは協会までお問い合わせください

国際交流子ども芸術教室 in 名古屋芸術大学西キャンパス

名古屋芸術大学の留学生や学生のお兄さん、お姉さんと一緒に「まちの彫刻」を描きませんか？野外美術館を楽しんだり、留学生との交流を通じて、楽しく国際交流しよう！！

日時　7月8日（土）　午前9時～午後3時
場所　名古屋芸術大学西キャンパスU棟1階102教室
対象　小学生
定員　30名（先着順）
参加料　無料
持ち物　お弁当、水筒、帽子、敷物、鉛筆、消しゴム、絵の具、クレヨン等

トヨタ産業技術記念館見学＆交流会

日本の産業技術の歴史について紹介します。その後、交流会を行います。

日時　7月16日（日）　午前9時～午後3時
行先　トヨタ産業技術記念館　他
集合　北名古屋市役所西庁舎　南側駐車場
対象　外国籍市民及びその子女
定員　20名（先着順）
参加料　無料（お昼ご飯を用意します）
締切　7月10日（月）

国際理解講座 井手初穂氏講演会

偶然と出会いから始まった私の国際貢献

今回は、タイの首都、大都会バンコクにあるスラムの現状と、ライフワークであるフェアトレードの仕事をはじめたいきさつについてお話しいただきます。

日時　8月19日（土）　午後2時～4時
場所　北名古屋市コミュニティセンター3階ホール
定員　50名（先着順）
参加料　無料

各種 申し込み お問い合わせ 等は、下記までお願いします。

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田15番地　北名古屋市役所西庁舎4階
北名古屋市国際交流協会　TEL0568(22)1111内線2400　FAX0568(25)1800
Eメール info@kitanagoya-kiia.jp　ホームページ http://www.kitanagoya-kiia.jp　フェイスブック https://www.facebook.com/kitanagoyakiia

私たちの国際交流

私とハングル

北名古屋市国際交流協会
理事　水田 育男

今から12年前に愛知万博が開催されました。この万博では、一市町村一国フレンドシップ事業が実施されました。私の住む旧師勝町は、豊田市ともども、韓国がフレンドシップ国となりました。

私は、それをきっかけにハングルを覚えようと、文化センターへ週一回通うようになりました。歴史や漢字をルーツとする韓国語に惹かれて、ずっと今でも韓国語を学習しています。韓国語も日本語と同様に漢字（中国語）から始まっており、共通点が多いです。朝鮮半島では、1443年に世宗を中心となって庶民にも理解できるようにと作った言語がハングルという、世界でもっとも新しい言語であることを知りました。例えば、韓国では、般若心経や南無阿弥陀仏という、お経も発音は違うものの、いまもそのまま使われております。

ハングルを覚えようとする同好会もできましたが、ほとんどが女性ばかりで、男性は入会しても続かず、黒一点という状況が今でも続いています。同好会で何度も韓国に行きましたが、男性は一人だけです。ホテルも一人部屋で高くなります。女性陣はソウルの街でも化粧品、おしゃれの店など、すぐに中に入ってしまい私は一人道路でハングルの看板を読んで時を過ごすということが毎回繰り返されました。

最近では、新大統領の就任演説などは聞き取れるようになりましたが、北朝鮮のテレビ放送は未だなじめません。先日、国際交流協会の事務局に行ったときのことです。新講座のために、机の上に「韓国語講座中級」というテキストが置いてありました。何気なくとって読むと、辞書も、手引書も見ずに、すべて読めるではありませんか。内心うれしくなりました。ソウルでの看板読みも役に立っていたのか、こんな老人でも継続すれば少しづつでも、進歩していくことがわかりました。今、しばらく、動けるうちは続けたいと思っています。